

出題 蜚雪ゼミナール

長良北校・築樋拓真



国語を様々な側面からみて、日本語の面白さや深さを知ってもらえればと思います。

問題【国語】

次の問いに答えましょう。

(1) 「サンマ」を漢字に直しなさい。

(2) 落語のタイトルにもなったサンマで有名な東京の地名を答えなさい。

豆知識 雑学コラム

時代で変わる食文化

夏も終わり、季節はすっかり秋となりました。秋の味覚の魚と言えば、名前に

「目黒のサンマ」とは、どういふ話なのか見てみましょう。

秋の入っている秋刀魚(サンマ)です。ね。サンマで有名な場所というと、宮城

昔、あるお殿様が目黒で狩りをしていました。狩りで体を動かして、空腹の

ていた農民に頼んで、サンマをもらい食べました。この時のサンマの味が忘れられず、城に戻ってからもお殿様は「サンマが食べたい」というようになりまし

困ったのは家来たちです。この時代、サンマは庶民が食べる魚で、家来たちはサンマを「下品な食べ物」とみなして

いて、調理の方法なども知りません。そのため、家来たちは、サンマを農民がしたように焼くのではなく、脂と骨を抜いた上で汁物にしてお殿様に出しました。

お殿様が一口食べましたがおいしくありません。不審に思ったお殿様は「このサンマはどこで取ったのか」と聞きま

した。家来が「日本橋の魚屋さんで買いました」と答えると、お殿様は「それはいけない。サンマは目黒(産)に限る」と言いました。

この話は、たまたま目黒で食べたというだけで、海からほど遠い目黒を海で獲れる魚のサンマの名産地だと思ってしまうお殿様の常識知らずなところが面白い断ですね。

さて、この話を聞くとサンマに対して、お殿様が食してはいけない「下品な食べ物」という扱いをしていることにびっくりするかもしれません。他にも江戸時代には、うなぎの蒲焼きがファストフード感覚で食べられていたなど、今とは違う食文化が存在していました。食べ物の価値や評価は時代によって変化していくのですね。

【解答】

目黒(2)

秋刀魚(1)